

学習・進路だより

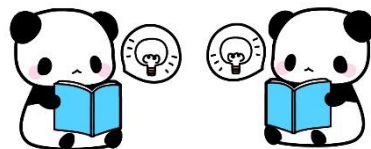
2学期中間テストも終わり、一喜一憂していると思いますが、目の前の点数だけではなく、そろそろ「進路に向けて何を重点的に学習しなければならないか」というのを本格的に考え始めましょう。そこで今回の学習・進路だよりでは、第2回実力テストの分析を行いますのでぜひ、参考にしてください。



* 学習時間の変化 *

家庭学習の時間が少ないことには変わりませんが、少しずつ時間が増加していることがわかりました。特に国数英の中では英語をみなさん一番勉強しているようです。ほとんどのクラスが1学期に比べ英語の学習時間が増加しています。素晴らしいことなのでこの調子で頑張りましょう。それに比べ、国語の学習時間がかなり少ないです。数学や英語も文章を読み解くことができなければ問題は解けません。国語の勉強時間も増やしていきましょう。しかし国語は「何を勉強したら良いかわからない」とよく言われます。そういう時はまず、新聞を読んだり読書をしたりして、文章をたくさん読み、文章に触れる機会を多くして下さい。そして、その内容について感想を書いたり討論したりしてみてください。まずは、そこから国語の学習時間を増やしていきましょう。読書の秋ですよ！

* 特進コースのみなさんへ *



前回、全国偏差値の平均が3教科とも上がっていましたが、残念ながら今回は3教科とも全国偏差値の平均が下がってしまいました。まず、その下がってしまったものを取り戻すために、苦手分野の克服から始めると良いと思います。各教科の優先項目としては、以下の項目が挙げられていました。

《国語》漢文知識：漢詩の知識（押韻などの基本的ルール・五言詩、七言詩の違い）

《数学》応用力：ベクトル（ベクトルの基礎事項・条件を図に表す）

《英語》文法：仮定法（条件節・適切な動詞の形【時制】）

それぞれ、基礎的なことから発展的なことまで幅も広く、難しいと思いますが、一個ずつ確実に苦手分野を克服していくことが、偏差値や、G T Zをあげる近道となります。

* 普通コースのみなさんへ *

普通コースのみなさんは前回に比べ、全国偏差値の平均が3教科とも上がっていました。この調子でどんどん伸ばしていきましょう。「特進コースのみなさんへ」のところで書いたとおり苦手分野の克服が一番の近道です。普通コースのみなさんの、各教科の優先項目としては、以下の項目が挙げられていました。

《国語》現代文小説読解：心情の把握（読み手の想像ではなく、本文中から根拠を探す）

《数学》公式利用：場合の数と確率（図や表を書き視覚化し、規則を理解する）

《英語》文法：仮定法（直説法と仮設法の違い・仮定法における動詞の時制）

また普通コースのみなさんは学習状況リサーチの結果、3教科とも「学習上の悩み：心配がある」という項目に対し回答している人が増えています。何を悩んでいるのか、何がわからないのか、話すだけで解決することがあるかもしれません。ぜひ、教員の所に相談に来て下さい。



* 各種検定について *

平成30年度の第2回の各種検定では、2年生は漢字検定・・・59人、数学検定・・・6人、英語検定・・・62人の申込みがありました。1学期よりも受験者が増加し、関心が増してきたことがわかります。さて、検定合格が、大学入試の結果に影響を及ぼすことは知っていますか。大学によりますが、合格判定で優先されたり、内申点に加算されたりするなどの優遇措置があります。在学中に英検資格を取得すると、級に応じて英語科目の単位として認められる大学もあるそうです。申し込みは受検の始まり。早い時期から適切な問題集を活用し、合格を勝ち取りましょう。星城高校では検定奨励費（受検料500円補助）という検定推奨支援が実施されていますので、ぜひ、活用していきましょう！

☆ 10・11月の学習進路関係予定 ☆

- | | |
|-----------|-----------------------|
| 10月18日（木） | 小論文講座
第2回オンライン英会話② |
| 10月24日（水） | 修学旅行保護者説明会
学校公開日 |
| 10月25日（木） | 小論文講座
第2回オンライン英会話③ |
| 10月26日（金） | 進研学力テスト |
| 11月01日（木） | 小論文講座 |
| 11月04日（日） | 第2回実用英語技能検定（2次） |
| 11月05日（月） | 期末テスト時間割発表 |



進路指導部より

推薦基準の話

2学期中間テストが終わり、10月も半ばを迎えました。ちょうど1年後、皆さんは進路決定に向けて努力をしていることでしょう。そんな皆さんに、進学についての成績面での推薦基準の話をしていきます。

公募推薦

次の①～③のうち、一つ以上を満たしていること

- ① 3年生1学期の評定平均が3.8以上
- ② 英検・漢検・数検のいずれかで準2級以上を取得
- ③ 3年生6月進研模試のGTZがC以上

指定校推薦

大学が求める条件を満たしたうえで、次のすべての条件を満たしていること

- ① 3年生1学期の評定平均が3.8以上
- ② 3年生6月進研模試の偏差値が50以上…すべての指定校に申込みが可能
50未満…3年生6月進研マーク模試のB判定偏差値との差が10以内の指定校に申込み可能

言葉で書くと簡単そうですが、現3年生は評定3.8以上の生徒も、GTZがC以上の生徒も全体の約3割でした。残りの7割の生徒は…残念ながら推薦を受けることができないということです。



来年のこの時期に向けて

評定平均3.8以上を目指しましょう。この平均は、1年生1学期からこれまでの平均です。2年生だけ頑張るのではなく、継続することが大切です。学校の授業・提出物・定期テストに真剣に取り組みましょう。

同時に模試に対応する実力を身につけなければいけません。10月26日に学年全体で受験する進研模試があります。GTZがC以上（偏差値41程度）を目標に勉強しましょう。評定も偏差値もすぐに大きくは上がりません。地道な努力を始めることが進路決定に向けて大きな力となります。

